

令和4年度 事業報告

(自令和4年4月1日 至令和5年3月31日)

令和4年度の事業活動の基本方針に沿って、公益性、透明性を高めながら、法令・定款・諸規程を遵守し、委員会、支部及び部会が連携して各種事業を的確に実施しましたが、昨年度に続き新型コロナウイルスの感染拡大により、一部事業の縮小を余儀なくされました。

I 令和4年度の事業の概要（重点事項）

1 「税知識の普及」「納税意識の高揚」「税制・税務に関する提言」事業の推進

適正・公平な申告納税制度の維持・発展と税務行政の円滑な執行に寄与する目的の実現に向けて、児童に対する租税教育活動、税務研修会、広報活動、税制改正に関する提言活動を実施しました。

2 会員及び地域発展のための事業の推進

当会を維持し運営を支える会員が、会員であることのメリットを享受できるように、会員のための福利厚生事業、会員支援のための各種講演会・セミナー、視察研修会及び親睦・交流会並びに全国各地の法人会との連携強化を図る事業を実施しました。

あわせて、各種講演会・セミナーは積極的に地域・一般市民に公開し、地域の経済発展に貢献するよう努力しました。

3 組織基盤の強化

当会の目的を達成するための基礎となる組織基盤強化のため、組織委員会、支部理事会で決定した活動方針に基づいて支部役員が中心となり、協力金融機関及び福利厚生制度取扱会社の協力を得て、会員増強活動に取り組みました。

II 主な事業活動

《公益目的事業関係》

1 税知識普及・納税意識高揚事業

改正税法説明会、シリーズ税務・実務研修会、大規模法人研修会、夏休み親子税金教室（静岡納税貯蓄組合連合会との共催による税金スタンプラリー）、「e-Tax杯親子PK大会」を絡めた青空税金教室、「税に関する絵はがきコンクール」、市内小学校における「租税教室」を開催。税務連絡協議会へ参画し、税を考える週間行事（税の広場開設、税の作品表彰・展示、税務関係広報冊子の配布）を実施。新設法人説明会の開催。

広報誌「ほうじん静岡」（年2回発行）へ税に関する情報の掲載。全法連発行の情報誌「ほうじん」や「改正税法のあらまし」など税に関する冊子の配布。ホームページへは税情報の掲載や「消費税」、「マイナンバー制度」、「電子申告の推進」など国税庁ホームページへのリンクバナー貼付を行い、内容の充実を図りました。

特に、未来を担う児童への租税教育活動についてはコロナ禍という厳しい環境の中、青年部会は、小学校へ出向き6年生の社会科授業として「租税教室」、女性部会は、「税に関する絵はがきコンクール」を継続して実施しました。

2 税制に関する提言事業

税制アンケートの実施、税制委員会による税制改正要望事項の協議・取りまとめを経た要望書を県連に提出。県連では各単位会の要望を集約し、全法連で提言書として取りまとめ、各省庁、各政党、地方公共団体などに対して全国的に提言活動を行いました。

当会では、静岡市長、市議会議長及び管内選出の国会議員に対して提言を行いました。

3 地域企業発展事業

企業の経営・会計・税務知識向上のため、実務（会計、経営等）セミナー、経済講演会、新入社員研修会を開催しました。

4 社会貢献事業

公開講演会・セミナー、地域社会への寄付・寄贈（女性部会による古切手・タオルの収集寄贈、愛の都市訪問への寄付、青年部会によるフードバンクふじのくにへの寄付）、インターネットセミナーの提供などを行いました。

《収益・共益事業関係》

1 収益事業

簡易保険団体取扱い、生活習慣病予防健診（2回開催）を行いました。

2 共益事業

（1）福利厚生事業

大同生命・A I G損害保険・アフラックと提携する「経営者大型総合保障制度」「法人会のビジネスガード」「がん保険、医療保険」の推進、福利厚生制度推進連絡協議会を開催しました。

（2）会員支援・交流事業

会員向け講演会やセミナー、視察研修会、連携融資制度、貸倒保証制度、事業承継支援制度、人間ドック法人会コース、カルチャー教室の斡旋、支部・部会の会員交流会などを実施しました。

3 会員増強活動

組織委員会、支部理事会で決定した活動方針に基づいて、支部役員が中心となり、協力金融機関及び福利厚生制度取扱会社の協力を得て、増強活動に取り組み159社が入会し、期末現在の会員数は4,667社（加入率41.1%）となりました。